

講座日程

	日時	講座テーマ	講師
①	7/4(土) 13:00~15:00 <small>*参加人数により(15:30~17:30)を実施する可能性もあります</small>	コミュニケーションワークショップ(実技)	劇作家・演出家 劇団太陽族 主宰 岩崎 正裕
②	7/11(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	共働を支える力 ファシリテーション ~話し合いの場をマネジメントするポイント~ (ワークショップ形式)	NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー 九州大学 大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行
③	7/12(日) 10:00~12:00	アーツマーケティング~集客から創客へ~	可児市文化創造センター アーラ 館長兼劇場総監督 衛 紀生
④	7/18(土) 13:00~14:30	市民ボランティアコーディネーションと市民参画	認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事 龍谷大学社会学部 教授 筒井 のり子
⑤	7/25(土) 13:00~15:00	ファンドレイジング(資金調達)の考え方 (ワークショップ形式)	特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会 代表理事 鶴尾 雅隆
⑥	10/3(土) 13:00~16:00	アートマネジメントの実践研究 広報宣伝と鑑賞者開発 ~その考え方と取組みのポイント~ (講義とワークショップ形式)	(公社)全国公立文化施設協会 事務局参与 (独)日本芸術文化振興会 プログラムオフィサー 柴田 英紀
⑦	10/11(日) 14:00~15:30 <small>(予定)</small>	まちづくり講演会	俳優 高橋 英樹

平成27年度
宇部市文化創造財団人材育成事業

アートマネージャー 養成講座

- コミュニケーションワークショップ
- 共働を支える力 ファシリテーション
- アーツマーケティング
- 市民ボランティアコーディネーションと市民参画
- ファンドレイジングの考え方
- アートマネジメントの実践研究 広報宣伝と鑑賞者開発

アートマネジメントとは?

初めて耳にする方も多いと思います。博物館には学芸員、図書館には図書館司書という専門人材がいるように、公立の文化施設においても、地域社会や住民ニーズに応え、文化と市民、文化と社会をつなぐ、アートマネジメントを実践できる専門性を備えた人材=アートマネージャーが求められています。

アートマネージャーが学ぶジャンルは多種多様。今回開催する講座は座学だけでなく、実践やワークショップ形式で実施します。

公立の文化施設で働く人だけでなく、文化活動を日頃行っている方で「マネジメント力をつけたい」と考えている方、地域のコミュニティの行事で「みんなで一致団結して目標に向かって行事を行いたい」と思っている方、「ステージに立つよりも、影で出演者を支える方が好き!」という方...皆様の参加をお待ちしております。

主催/一般財団法人 宇部市文化創造財団

郵便はがき

7 5 5 0 0 4 1

52円切手をお貼りください

宇部市朝日町8番1号
宇部市文化会館内
一般財団法人宇部市文化創造財団
「アートマネージャー養成講座」行



宇部市文化会館

宇部市朝日町8番1号(電話0836-31-7306)
JR宇部新川駅から徒歩3分

※会館に駐車場はございますが、台数に限りがあります。
また、イベントの開催状況により満車になる場合がございます。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

◆お問い合わせ・お申し込み先◆

一般財団法人宇部市文化創造財団事務局
「アートマネージャー養成講座」担当

〒755-0041 宇部市朝日町8番1号 宇部市文化会館内
TEL 0836-35-3355 ファクシミリ 0836-31-7306
電子メール info@ube-bunzai.jp
ホームページ http://ube-bunzai.jp

講座テーマ	講師／プロフィール
<p>① コミュニケーション ワークショップ(実技)</p> <p>アートマネージャーにとって必要不可欠なコミュニケーション能力。演劇ワークショップを通じてコミュニケーション力を引き出していきます。</p>	 <p>劇作家・演出家 劇団太陽族 主宰 岩崎 正裕 Masahiro Iwasaki</p> <p>関西小劇場演劇界の旗手のひとり。1982年に、大阪芸術大学舞台芸術学科の学生で「劇団大阪太陽族」を結成し、演劇活動を始める。1990年に199Q 太陽族と改名、2001年から現在まで活動。1995年に日本を震撼させた宗教団体オウム真理教事件を題材にした岩崎作・演出による「ここからは遠い国」を発表し、OMS戯曲賞を獲得。社会で起こる事件や現象をモチーフに、現代人のもつ閉塞感とわい雑な人間関係を描いた作品で定評がある。特に、幻想と現実、時間と空間が行き来する舞台ならではの非日常的な演出スタイルにファンが多い。高校生などを対象にした劇作や演出のワークショップ指導者としても活躍し、北九州芸術劇場、長崎ブリックホールなど全国の公立ホールで市民参加劇を発表している。2008年から伊丹アイホール・シアター・ディレクターに就任。 http://www.ne.jp/asahi/gekidan/taiyozoku/</p>
<p>② 共働を支える力 ファシリテーション ～話し合いの場を マネジメントするポイント～ (ワークショップ形式)</p> <p>意見が出ない、論点がずれる、何も決まらずに終わる…こんな話し合いの経験が、みなさん少なからずあると思います。ファシリテーションは、メンバーから多様な意見を引き出し、共働するよう促し、質の高い成果にたどりつくように支援します。チームメンバーの意見を引き出し、合意形成や意思決定に結びつけていくチーム運営リーダーに必須のスキルです。</p>	 <p>NPO法人日本ファシリテーション協会 フェロー 九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 Takayuki Karube</p> <p>福岡県出身。九州大学法学部卒業。西部ガス(株)入社。人事、営業、新規事業部門に従事。学生時代からまちづくり活動に携わり、入社後も活動を継続。2001年には西部ガスより福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣。西部ガス復帰後は指定管理者制度を担当。2007年からは九州大学へ出向し、大学改革プロジェクトを経て、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発や学内外プロジェクトを担当。企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験している「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーションを実践。2011年4月に独立。現在は、加留部貴行事務所AN-BA1代表。(株)トライログ取締役。他に福岡県行政改革審議会委員、福岡市研修企画アドバイザーなど。著書に「チーム・ビルディング 一人一人を「つなぐ」技法」、「教育研修ファシリテーター」(いずれも共著・日本経済新聞出版社)など。</p>
<p>③ アーツマーケティング ～集客から創客へ～</p> <p>これからは「集客」から「創客」の時代。創客するということは、どういうことか？文化芸術の分野でマーケティングを活かす＝地域発の創造活動と観客づくりについて学びます。</p>	 <p>可児市文化創造センター アーラ 館長兼劇場総監督 衛 紀生 Kisei Ei</p> <p>早稲田大学中退後、虫プロダクション企画演出課に勤務。ほぼ同時に演劇批評家として雑誌「新劇」等に連載を始める。70年代後半、山崎哲、渡辺えり子、北村 想、竹内統一郎らをいち早く評価して「第三世代」のネーミングマスターとなる。80年代後半からBSエンターテイメント・ニュースの演劇キャスターを務め、93年に地域演劇の振興と演劇環境の整備を目的に舞台芸術環境フォーラムを設立。早稲田大学文学部講師。県立宮城大学事業構想学部・大学院事業構想学研究所客員教授を経て現職。現在、芸術文化振興基金地域文化活動専門委員、長岡芸術文化振興財団アドバイザー、など十数地域の自治体文化行政にかかわる一方で、文化庁、財団法人地域創造、芸術文化振興基金などの委員を務め、あわせて日本照明家協会賞舞台部門、ニッセイバックステージ賞等の審査委員を務める。歌舞伎・演劇評論家、文化行政アドバイザー、ホール経営コンサルタント、東京芸術大学演奏芸術センター講師。</p>
<p>④ 市民ボランティア コーディネーションと 市民参画</p> <p>ボランティア活動が定着する中で、これを支える技術＝コーディネーション力が求められるようになってきました。実際の場面で活かせる知識と技術を学んでいきます。</p>	 <p>認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事 龍谷大学社会学部 教授 筒井 のり子 Noriko Tsutsui</p> <p>龍谷大学社会学部教授。1983年、関西学院大学院社会学研究科博士課程前期課程修了。院生の頃から、大阪ボランティア協会の非常勤スタッフとして、大阪府寝屋川市において地域福祉を推進する市民活動団体の事務局を7年間担う。その後、いくつかの大学を経て1999年より現職。日本ボランティアコーディネーター協会2004年～2007年度まで代表理事を務め、2012年4月から再任。大阪ボランティア協会理事など。著書に「ボランティア・コーディネーター～その理論と実際」(大阪ボランティア協会)「コミュニティソーシャルワーク」(ミネルヴァ書房)「市民社会の創造とボランティアコーディネーション」(筒井書房・共著)「ボランティアコーディネーションカー市民の社会参加を支えるチカラ」(中央法規出版・共著)など。</p>

講座テーマ	講師／プロフィール
<p>⑤ ファンドレイジング (資金調達)の考え方 (ワークショップ形式)</p> <p>ファンドレイジング(資金調達)とは、団体のコアなファンを増やすためのコミュニケーション活動といえます。ファンドレイジングの基本的な考え方を理解し、潜在的な寄付者との関係構築を戦略的に行う方法を学びます。</p>	 <p>特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会 代表理事 鵜尾 雅隆 Masataka Uo</p> <p>G8 社会インパクト投資タスクフォース日本諮問委員会副委員長、社会的投資促進フォーラムメンバー、日本ボランティアコーディネーター協会副代表理事、(株)ファンドレックス代表取締役なども務める。JICA、外務省、米国NPOなどを経て2008年NPO向け戦略コンサルティング企業(株)ファンドレックス創業。2009年、寄付10兆円時代の実現をめざし、日本ファンドレイジング協会を創設し、2012年から現職。認定ファンドレイザー資格の創設、アジア最大のファンドレイジングの祭典「ファンドレイジング日本」の開催や寄付白書・社会投資市場形成に向けたロードマップの発行、子供向けの寄付教育の全国展開など、寄付・社会的投資促進への取り組みなどを進める。2004年米国ケース大学Mandel Center for Nonprofit Organizationsにて非営利組織管理修士取得。同年、インディアナ大学The Fundraising School修了。著書に「ファンドレイジングが社会を変える」[NPO実践マネジメント入門(共著)]「Global Fundraising(共著)」「寄付白書(共著)」「社会投資市場形成に向けたロードマップ(共著)」などがある。</p>
<p>⑥ アートマネジメントの実践研究 広報宣伝と鑑賞者開発 ～その考え方と取組みのポイント～ (講義とワークショップ形式)</p> <p>広報と宣伝は似て非なるもの。効果的なチラシの作成や鑑賞者との双方向である情報誌とは？顧客と潜在的な鑑賞者を開発していくための手立てを考えていきます。</p>	 <p>(公社)全国公立文化施設協会 事務局参与 (独)日本芸術文化振興会 プログラムオフィサー 柴田 英紀 Eiko Shibata</p> <p>神奈川県横浜市出身。政策研究大学院大学政策研究科文化政策プログラム修士課程修了(文化政策修士)。劇団俳優座演劇制作部勤務後、北海道・仙台・広島等の自治体で実施した演劇による人材育成事業に着手し、演劇プロデューサーを務める。地域における文化芸術振興事業を数多く手がけ、文化ボランティアや文化事業の評価立案等広範な活動に参画。平成9年度文化庁在外研修員として英米の地域劇場にて研修。平成14年から9年間に渡り、鳥取県文化振興財団文化芸術デザイナーに就任し、片山善博前鳥取県知事(現・慶応義塾大学教授)の文化政策を推進する。平成21年から平成25年度まで(公財)滋賀県文化振興事業団理事兼芸術監督を務める。平成24年度からは、(独)日本芸術文化振興会プログラムオフィサー(演劇分野)に就任し、日本版アーツカウンシルの試行にかかわり、助成制度のしくみや評価のあり方について調査研究を行っている。現在、平成17年度からアドバイザーを務める(公社)全国公立文化施設協会で事務局参与、平成22年度から出雲市芸術文化振興アドバイザー、平成27年度からは、文化庁文化審議会文化政策部会委員、2020年オリンピック、パラリンピック東京大会に向けた障がい者の芸術文化振興に関する懇談会委員に就任し現在に至る。</p>
<p>⑦まちづくり講演会</p>	<p>俳優 高橋 英樹</p> <p>※「アートマネージャー養成講座」受講の方は、「まちづくり講演会」も受講していただけます。</p>

◆募集要項

対象 文化活動者、文化活動を支える仕事に興味のある方(学生可)

講座期間 平成27年7月4日(土)～10月11日(日)

会場 宇部市文化会館(宇部市朝日町8番1号 電話0836-31-7373)

定員 50名(先着順)
(但し、申込み多数の場合、宇部市民を優先させていただきます)

受講料 一般 3,000円
大学生以下 1,000円
(受講する講座テーマ数に限らず一律です)
※受講するための交通費、昼食代等については、別途受講者の負担となります。

◆お申し込み方法

次のいずれかの方法によりお申込みください。
【1】パンフレット内のハガキに必要事項を記入して、お申込み先にご持参又はお送りください。
【2】メール、ファクシミリでのお申込みも受け付けます。
上記【1】のハガキの項目(1)～(7)について必要事項を明記し、お申し込み先(裏表紙)にご応募ください。

お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、受講の登録と申込者への連絡に使用いたします。

◆お申込み締切

平成27年7月3日(金) 17時厳守

※翌日が第1回目の講座となりますので17時厳守とさせていただきます。
※締め切り前でも定員を大きく超えた場合はお申し込みをお受けできない場合があります。

受講申込書

(1)お名前／グループの場合は代表者のお名前(ふりがな)	()
(2)参加人数 ()人	
(3)ご住所 〒 -	
(4)電話番号	
(5)ファクシミリ番号	
(6)E-mail	
(7)ご所属(学校・所属団体など可能であればご記入ください) 該当するものをお選びください。 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 文化活動者 <input type="checkbox"/> その他()	